

項目	説明	
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	切除可能非小細胞肺癌における FDG PET/CT SUVmax と、PD-L1 発現および術前免疫療法後病理学的奏効との関連に関する後ろ向き観察研究
	研究対象者	2023 年 5 月 13 日から 2026 年 7 月 15 日までの間に神奈川県立がんセンターで原発性非小細胞肺癌と診断され、術前に FDG PET/CT 検査および PD-L1 検査を受け、肺切除術を受けられた患者さんを対象とします。
	研究目的	近年、肺がんに対する免疫療法の進歩により、手術前に免疫療法を行う患者さんが増えています。そのため、治療前に効果を予測できる指標が求められています。現在は PD-L1 という検査が広く用いられていますが、生検で採取できる組織が限られるため、腫瘍全体の性質を十分に反映できないことがあります。本研究では、PET/CT 検査で得られる SUVmax という値と PD-L1 発現との関連や、手術前の治療効果との関連を調べ、より正確な治療方針の決定に役立つ新たな指標となる可能性について検討することを目的としています。
	研究方法	電子カルテを使用して患者背景、病理診断、PD-L1 発現率、SUVmax などに関する情報を収集する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 7 月 2 7 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載:_____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 []ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(具体的に記載:病理所見、PD-L1 発現、SUVmax)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 呼吸器外科 村田玄太郎
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 村田 玄太郎 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 11 月 30 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	